

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～
 子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。



明日は、浜之郷小学校の運動会です。1年生、そして2年生にとっても小学校で初めての運動会です。新型コロナウイルス感染症の感染予防から、今年度の運動会は学年2種目の午前開催と、以前と大きく形を変えて開催します。運動会に向けての練習は、9月の前半は暑さ指数(WBGT)が嚴重警戒値を超える日が、9月の後半は雨の降る日が多く、なかなかグラウンドでの練習ができませんでした。それでも子どもたちは限られた時間の中で、しっかり練習を積み重ね、明日の本番では「素敵な笑顔」を見せてくれることでしょう。

「陰の立役者」という言葉があります。「立役者」とは元は演劇用語で、重要な役を演じる役者のことです。つまり、「陰の立役者」は陰にしながら成功を支えるような活躍をする人になります。明日の運動会で「陰の立役者」となるのが、運動会係を務める5年生・6年生です。係打合せをもとに前日準備から当日終了後の片付けまで、5年生・6年生が「運営PD(Physical Distancing)係」「児童係」「用具係」「会場係」「審判係」「誘導係」「放送係」の7つの係に分かれ、運動会を支えてくれます。明日は、グラウンドの真ん中で行われる各学年の競技や演技に大きな拍手をお願いするとともに、「陰の立役者」となる運動会係の5年生・6年生にも心の中で大きな拍手をお願いします。

さて、運動会が終わると、あっという間に前期の終業式(今年の振り返り地点)です。子どもたちは「家庭への知らせ」を持ち帰りますが、それぞれの「学校生活の様子」の欄には、子どもたちの頑張ったことや身に付けたことが書かれています。どうか、お子様と一緒に「家庭への知らせ」を読んでいただき、頑張りを褒めてあげてください。褒められたことが自信となり、子どもたちの次へのやる気に繋がるはずです。

9月11・12日に6年生の修学旅行がありました。コロナ禍による黙食等の制限があったものの、日光東照宮や華嚴の滝等を巡るとともに旅館で仲間との一泊を経験することができました。今年は、5年生のキャンプも行うことができ、実施後の感染拡大も見られていません。今後子どもたちが安心して他者と繋がり、学びを深めていけるよう感染対策を行ってまいりますので、引き続きご協力をよろしくをお願いします。

